

北極環境研究に関する長期計画の必要性

大畑哲夫

(独) 海洋研究開発機構・地球環境研究領域

Necessity of long-term plan on Arctic Environment Research

Tetsuo Ohata

RIGC, Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology

The presentation will discuss the necessity of long-term plan for the Arctic Environmental Research needed for efficient and effective research in Japan.

北極環境研究は長いこと、日本で行われてきた。それは小規模なグループの研究であるとともに、特定機関のプロジェクトであったし、現在も行われている。2010年から、北極研究の大型予算の可能性が示され、All-Japanに近い形での研究課題等の議論がなされはじめた。2011年にGRENE北極事業が開始するにあたり、大卒の「戦略課題」に沿った研究課題の公募が行われ相当数の課題が採択された。しかしながら、それらはコミュニティーで、研究のギャップを含めて十分議論・検討され、また長期的展望に基づいた計画では必ずしもなかった。

北極環境研究コンソーシアム(JCAR)の目的の一つに「長期計画策定」という項目があり、それを推進することが求められている。それは日本として効率的で効果的な研究につながる。多くの研究者が関わっているGRENEが2年目を終えようとしているこの時期に、これに関する議論を開始した方が良いと考えている。

本発表では、「長期計画」およびその策定に関係した日本の現況、諸外国における状況、長期計画策定の必要性および内容、それに検討の方法等に関して話題提供し、議論を喚起できればと考えている。

本発表は、JCARの運営委員会・委員長の立場での発表であります。